



チャレンジ！前へ！Season1

子供たちのがんばりに大きな拍手を！学習成果発表会



1年生は「できるようになったこと」を発表しました。幼稚園や保育所で行われてきた教育を小学校が引き継ぐとともに実践に生かし、ゆるやかに1年生になっていきました。自分にできることは！自分に苦手なことは！誰もが同じように成長するわけではありません。ただ単に成長していませんよ。担任がしっかりと寄り添い、子供たちの様子をつぶさに見取ったからこそ充実したこの発表会になりました。

2年生は「町探検」の発表です。2年生の授業をのぞいたときに、一生懸命に練習していました。「ドキドキが止まらないよお」休み時間に校長室に来て伝えてくれました。本番ではみんな堂々と発表しました。発表が良くできたとともに、自分たちが調べた内容に自信がみなぎっていました。聞いていて「なるほど」と思うことも多く、2年生の学びから教えてもらうことも多かったです。



3年生は総合的な学習の1年目。「働く人々」に視点を当てた探究活動の発表でした。各班がまとめた発表には様々な働く人々がまとめられていました。疑問を昇華させた課題に取り組みながら自分たちの探究を進めてきました。総合的な学習の時間ともなれば生活科とは学ぶ視点が変わってきます。2年生を前にした「先輩」としての発表に自信と探究の裏付けがベストマッチでした。

4年生は福祉について学びを深めました。今年の4年生は町の社会福祉協議会とも連携を深め、体験から学ぶこと、体験を生かして学ぶことを深めながら探究を続けてきました。福祉全般についての理解にとどまらず那須町の現状を併せて学んだようです。総合的な学習の時間だからこそできた深い学びと協働活動。個別の学びを協働で深めるといった総合的な学習の時間としての自己有用感を高めました。



5年生は環境についての学びです。活動もさることながら、より多くの資料を用いて様々な角度から探究を試みていました。GOODNEWSさんに学んだ環境への考え方はまとめにも大きく反映していました。わいわいフェアでさつまいもを材料にしたスイーツ等の販売も大きく環境を考える糧になっていたことは、これからの総合的な学習の時間の学習過程を考えていく上での大きな示唆となりました。

6年生の地域創生フォーラム。那須町観光協会DMOとタッグを組んだ日本初の小学生の町づくり地域連携。この1年間でみるみる力をつけた6年生。総合的な学習の時間の探究が自らの学びの姿を変え、自らを振り返えられる自己調整能力をも身に付けました。当日は多くのメディアも来校し、とちぎテレビ、NHK、下野新聞で取り上げられました。目に見えない力は学びの深化の土台であることを証明しました。



お忙しい中で多くの保護者の皆さんや地域の方が来校しました。本当にありがとうございました。



学習成果発表会 保護者アンケート結果まとめ：児童の成長と今後の展望

2026年2月実施。児童の主体的な準備と自信に満ちた姿が高評価。参観環境や情報共有で改善要望も。

児童の意欲と成長の証

発表後の達成感と自己肯定感の向上：発表を乗り越えてやり遂げたことで、自信に満ちた姿や成長を感じたという声が多数ありました。

多様な表現方法の活用：タブレットや紙形式の導入など、児童の個性や学習スタイルが保護者に好評でした。

運営面での評価と改善への提案

分数量解による参観のしやすさ [STATISTIC] 学年ごとに時間をずらした場合は、保護者が見たい内容から評価が向上しました。

参観環境と情報発信の最適化：立ち見席の確保や通風、設置できない方向の動画配信を望む声がありました。

保護者の具体的なポジティブな反応 (例)

参観での自然な準備と高い意欲：多くの児童が主体的な準備をもち、目的の発表を心待ちにする様子が見られました。

学習の時間設定：「授業の発表をやらせると準備がすすんで見ることができた」

参観日の実施：「都合がつかず、参観しやすかったです」

児童同士の発言：「学校の学習や発表することで活気が出ていた」

参観後の適切なサポート体制：6年生の参観開始に際し、参観の進捗や準備期間の確保を要する声の一部が上がりました。

保護者の皆さんからいただいたアンケートをインフォグラフィックでまとめました。良い面ばかりでなく次年度につなぐ課題もいただきました。保護者の皆さんもしっかりとお子さんに向き合ってくれていることが分かり、アンケートの内容に感動しました。